



INTERNATIONAL D-CINEMA FESTIVAL 2018 7.13^{FRI} - 22^{SUN}

SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2018

■名称：SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2018 (第 15 回)

■期間：2018 年 7 月 13 日 (金) ~ 7 月 22 日 (日) 10 日間

■会場：SKIP シティ 映像ホール / 多目的ホールほか [埼玉県川口市上青木 3-12-63]

MOVIX 川口 [埼玉県川口市並木元町 1-79 アリオ川口 3F]

■内容：<上映作品>

- ・国際コンペティション 10 作品
- ・国内コンペティション [長編部門] 4 作品
- ・国内コンペティション [短編部門] 9 作品
- ・15 周年特別企画「飛翔する監督たち from SAITAMA」4 作品
- ・15 周年特別企画「名匠たちの軌跡」3 作品
- ・15 周年特別企画「怪盗ブルーシリーズー 拳上映」3 作品
- ・オープニング上映 1 作品
- ・バリアフリー上映 1 作品

<関連企画>

- ・ママ・シアター
- ・VR 上映
- ・メイド・イン SKIP シティ
- ・カメラクレヨン ~子どもたちが作った映画がいま、面白い!~

<イベント>

- ・SKIP シティの夏祭り
- 主催：埼玉県、川口市、SKIP シティ国際映画祭実行委員会、特定非営利活動法人さいたま映像ボランティアの会
- 共催：MOVIX 川口
- 協賛：ソニービジネスソリューション、

ソニー PCL、富士フイルム、清水建設、竹中工務店、シミズ・ビルライフケア、アサヒファシリティズ、NTT コミュニケーションズ、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉県信用金庫、しまむら、浦和ロイヤルパインズホテル、セントラル自動車技研、ジャパンビバレッジイースト、FV ジャパン、サッポロビール、伊藤園、一般社団法人埼玉県トラック協会、公益財団法人埼玉県公園緑地協会、タムロン、カルソニックカンセイ、レントシーバー、ニッポンレンタカー、埼玉経済同友会、一般社団法人埼玉県経営者協会、公益財団法人埼玉県産業文化センター、デジタル SKIP ステーション、SKIP シティ国際 D シネマ映画祭を応援する市民の会

■後援：総務省、外務省、経済産業省、文化庁、一般社団法人日本映画作者連盟、一般社団法人映画産業団体連合会、公益財団法人ユニジャパン、一般社団法人外国映画輸入配給協会、公益社団法人映像文化製作者連盟、一般社団法人日本映画テレビ技術協会、一般社団法人日本映画テレビプロデューサー協会、協同組合日本映画監督協会、協同組合日本映画撮影監督協会、協同組合日本映画製作者協会、全国興行生活衛生同業組合連合会、生活衛生同業組合埼玉県映画協会、一般財団法人デジタルコンテンツ協会、特定非営利活動法人映像産業振興機構、NHK、FM NACK5、埼玉新聞社、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

■協力：川口商工会議所、公益社団法人川口青年会議所、川口銀座商店街振興組合、

鳩ヶ谷商工会、J:COM 川口・戸田、J:COM 草加、埼玉高速鉄道、国際興業バス、日本映像翻訳アカデミー

■メディアパートナー：Getty イメージズ ジャパン、テレ玉、FM Kawaguchi、アヴァンティ・プラス

■補助：公益財団法人 JKA

国際コンペティション International Competition

最優秀作品賞 1 作品 / 監督賞 1 作品
審査員特別賞 1 作品 / SKIP シティアワード 1 作品 / 観客賞 1 作品

概要・賞構成

本映画祭の中核となる国際コンペティションでは、本年から規約を刷新し、長編映画制作本数が 3 本以下の監督による、デジタルで撮影・編集された 60 分以上の作品を公募した。本年は過去最多となる 98 の国と地域から 656 本の応募があり、選りすぐりの 10 本がノミネート。コソボ共和国製作 (オランダ合作) の作品が初ノミネートとなるなど、現代社会の潮流を映し出した珠玉の作品が揃った。ノミネート作品は、審査員 4 名による最終審査を経て、最優秀作品賞をはじめとする各賞を表彰する。また国際コンペティション、国内コンペティションを通じた国内作品を対象に、SKIP シティでの映像制作を一定期間サポートする「SKIP シティアワード」を授与する。

SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2018

国際コンペティション審査員

■審査委員長 渡辺 真起子

Makiko Watanabe 俳優 / 日本

1968年東京都出身。99年、映画『M/OTHER』で初主演を果たし、高崎映画祭にて主演女優賞を受賞。以後、各映画祭で評価を受けた映画作品に多数出演する。代表作に『愛の予感』(07)、『愛のむきだし』(08)、『トルソ』(09)、『ヒミズ』(11)、『2つ目の窓』(14)、『女が眠る時』(15)、『ハローグッバイ』(17)など。『チチを撮りに』(12)で、第55回アジア太平洋映画祭 最優秀助演女優賞、第7回アジア・フィルムアワードでは日本映画で初めての最優秀助演女優賞を受賞。

■審査員 深田 晃司 Koji Fukada

映画監督 / 日本

1980年東京都生まれ。映画美学校修了後、2006年にバルザック原作の中編『ざくろ屋敷』を発表。2010年、『歓待』が東京国際映画祭の日本映画「ある視点」作品賞を受賞。長編5作目の『淵に立つ』(16)は、第69回カンヌ映画祭「ある視点」部門審査員賞、第67回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。ほかに、『東京人間喜劇』(08)、『ほとりの朔子』(13)、『さようなら』(15)など。最新作は今年5月公開の『海を駆ける』(18)。また、2012年にはNPO法人独立映画館を有志と立ち上げた。

■審査員 ステファン・ホール

Stephan Holl ラピッド・アイ・ムービーズ社代表、プロデューサー / ドイツ

1965年ドイツ生まれ。映画配給・製作会社ラピッド・アイ・ムービーズの共同設立者。ドイツで様々なアートシネマを配給しており、北野武、三池崇史、パク・チャヌク、キム・キドクなどの作品も配給。ハリウッド映画をヨーロッパに紹介したことで知られる。プロデューサーとしても数々の作品を手がけており、ケビン・デ・ラクルス、アシム・アルワリア、SABU、クリストファー・ドイル、アレクサンダー・クルーグの作品に携わっている。

■審査員フレデリック・ツイ

Frederick Tsui メディア・アジア社、ジェネラル・マネージャー / 香港

アメリカで学んだ後、香港の英語テレビ局のプログラミング部門に入社。以後、香港テレコムにて買付担当と戦略プランニング担当を兼任、そして世界初のVODサービスの立ち上げにも携わる。現在、メディア・アジア社にてセールスと国際共同製作を担当している。また香港批評家協会のメンバーでもあり、雑誌や新聞などに映画批評を寄稿している。

国内コンペティション

Japanese Film Competition

優秀作品賞（長編部門）1作品 / 優秀作品賞（短編部門）1作品 / SKIP シティアワード 1作品 / 観客賞（長編部門・短編部門各1作品）2作品

概要・賞構成

国内コンペティションでは、15周年を機に“若手映像クリエイターの登竜門”として新たな才能の発掘・育成を強化すべく、規約と部門構成をリニューアル。デジタルで撮影・編集され2017年、2018年に完成した作品を対象として、長編部門では、長編制作本数が3本以下の監督による60分以上の作品を、短編部門では、長編制作が未経験の監督による15分以上60分未満の作品を公募した。本年は長編部門に67本、短編部門に176本の応募があり、長編部門4本、短編部門9本がノミネートとなった。最終審査は日本映画に精通した3名の審査員によって行われ、長編部門、短編部門それぞれに優秀作品賞と観客賞が贈られる。また国際コンペティション、国内コンペティションを通じた国内作品の中から「SKIP シティアワード」を授与する。

国内コンペティション審査員

■審査委員長 榊井 省志 Shoji Masui

株式会社アルタミラピクチャーズ代表取締役、プロデューサー / 日本

大映プロデューサー時代に『シコぶんじゃった。』(92)を手掛ける。1993年、磯村一路監督、周防正行監督とアルタミラピクチャーズを設立。『Shall we ダンス?』(96)、『がんばっていきまっしょい』(98)、『ウォーターボーイズ』(01)、『スウィングガールズ』(04)、『それでもボクはやってない』(07)、『ハッピーフライト』(08)、『ロボジー』(12)、『終の信託』(12)、『舞妓はレディ』(14)、『サバイバルファミリー』(17)など劇映画をプロデュース。また『タカダワタル的』(04)など音楽ドキュメンタリー映画も数多く手掛ける。現在、東京藝術大学大学院映像研究科教授として後進の育成にも当たる。

■審査委員 北條 誠人 Masato Hojo

ユーロスペース支配人 / 日本

法政大学経済学部経済学科卒業。大学在学中から映画の自主上映に携わる。1985年ユーロスペースの前身の欧日協会に入社。1989年よりユーロスペースの劇場支配人と配給作品の地方営業を担当する。ミニシアターの創成期から1990年代半ばの最盛期、若い世代のミニシアター離れに至るまでの30年間を見つめてきている。ユーロスペースでは、2014年の『螺旋銀河』、2016年の『見栄を張る』『いたくてもいたくても』など近年、本映画祭ノミネート作品が多数公開されている。

■審査委員 マリオン・クロムファス Marion Klomfass ニッポン・コネクション、映画祭ディレクター / ドイツ

ドイツのフランクフルトで毎年開催されている日本映画専門の映画祭ニッポン・コネクションのディレクター。フランクフルト大学にて、演劇、映画、メディアを学び修士号をとる。在学中に映写技師として、また映像編集担当として活動する。2000年にニッポン・コネクション映画祭を立ち上げる。いまでは世界最大規模の日本映画に特化した映画祭に成長した。2013年には日本とドイツの文化交流に貢献したとして、外務大臣表彰を授与された。

SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2018

■オープニング上映

◆『君がまた走り出すとき』

監督：中泉裕矢

出演：寛 一郎 山下リオ 菜葉菜 辻本祐樹 綱島恵里香 安居剣一郎・長谷川初範 浅田美代子・松原智恵子

製作：川口市

特別協力：埼玉県 / SKIP シティ 彩の国ビジュアルプラザ < 2018年 / 日本 >

©2018 川口市

もう逃げない、この人生<レース>川口に住む、ある市民ランナーの実話が導く再生ストーリー。

■国際コンペティション

◆『ダーリンの憂い』 Darling

監督：ピアギッテ・スターモス

出演：ダニカ・クルチッチ、グスタフ・スカルスガルド、ウルリク・トムセン、アストリッド・グラルupp・エルボ < 2017年 / デンマーク、スウェーデン / 101分 >
< アジアン・プレミア >

怪我で公演を降りたバレエ団のプリマドンナ。今、女たちのドラマが幕を開ける。

◆『ブリス、マイ・スウィート・ホーム』

God BLISS Our Home

監督：ナウルズ・パギドボン

< 2017年 / フィリピン、韓国 / 74分 >
< インターナショナル・プレミア >

大学は出たけれど、僕にはお金がない…。現代風刺セルフ・ドキュメンタリー。

◆『最後の息子』 Last Child

監督：シン・ドンソク

出演：チェ・ムソン、キム・ヨジン、ソン・ユビン
< 2017年 / 韓国 / 124分 >
< ジャパン・プレミア >

息子の命と引き換えに救われた少年。両親にとって、彼の存在は希望か絶望か？

◆『ザ・ラスト・スーツ (仮題)』

The Last Suit

監督：パプロ・ソラルス

出演：ミゲル・アンヘル・ソラ、アンヘラ・

モリーナ、ナタリア・ベルベケ、フリア・ベールホルド、オルガ・ボラス

< 2017年 / スペイン、アルゼンチン / 86分 >

< ジャパン・プレミア >

ナチスの迫害を逃れた老人が、約束を果たす旅に出る感動のロード・ムービー。

◆『スポットライト』 Light Up

監督：キリル・プレトニョフ

出演：インガ・オゴルディナ、ヴィクトリア・イサコヴァ、ウラジミール・イリン、アンナ・ウコロワ、アレクセイ・シェフチェンコフ、エカテリーナ・アギーヴァ

< 2017年 / ロシア / 97分 >

< アジアン・プレミア >

◆『ナンシー』 Nancy

監督：クリスティーナ・チョウ

出演：アンドレア・ライズボロー、J・スミス=キャメロン、ステイーヴ・ブシエミ、アン・ダウド、ジョン・レグイザモ

< 2018年 / アメリカ / 86分 >

コピーライト表記ナシ

< アジアン・プレミア >

嘘で塗り固めた私の人生。けれど探しているのは、本物の温もり。

◆『彼女はひとり』 She is Alone

監督：中川奈月

出演：福永朱梨、金井浩人、美知枝、山中アラタ、中村優里、三坂知絵子、櫻井保幸、榮林桃伽、堀春菜、田中一平

< 2018年 / 日本 / 60分 >

< ワールド・プレミア >

幼なじみを執拗に責め立てる女子高生。彼女が抱える心の闇とは？

◆『ザ・スワン』 The Swan

監督：アウサ・ベルガ・ヒョールレーフズドッテル

出演：グリーマ・ヴァールズドッテル、ソウルワルドゥル・ダヴィズ・クリスティアンソン、スリズウル・ブライル・ヨハンズドッテル、イングヴァール・E・シーグルズソン、カトラ・マルグレット・ソウルゲルズドッテル

< 2017年 / アイスランド、ドイツ、エストニア / 91分 >

< ジャパン・プレミア >

人里離れた親戚の元に預けられた少女が

体験する、ひと夏の成長物語。

◆『あの木が邪魔で』 Under the Tree

監督：ハーフシュテイン・グナル・シーグルズン

出演：ステインソウル・フロアル・ステインソウルソン、エッダ・ビヨルグヴィンズドッテル、シグルズール・シグルヨンソン、ラウラ・ヨハナ・ヨンズドッテル、ソウルステイン・バックマン、セルマ・ビヨルズドッテル、ドーラ・ヨハンズドッテル、シグリズール・シグルパウルズドッテル・シュケーヴィング

< 2017年 / アイスランド、デンマーク、ポーランド、ドイツ / 89分 >

< ジャパン・プレミア >

庭の木の影のために、両隣の二家族が対立を深めてゆく、ブラックなホームドラマ。

◆『招かれざる者』 Unwanted

監督：エドゥ・リズヴァノリ

出演：アドリアナ・マトシェ、ジェイソン・デ・リダー、ニキ・フェルカール、エドゥ・リズヴァノリ

< 2017年 / コソボ、オランダ / 85分 >

< ジャパン・プレミア >

アムステルダムに暮らす、コソボ難民の母と息子。歴史の残酷さを問う衝撃作。

■国内コンペティション長編部門

◆『あの群青の向こうへ』 Beyond the Blue

監督：廣賢一郎

出演：芋生悠、中山優輝、瀬戸かほ、斎藤友香莉、合アレク、ひと：みちゃん、大口彰子、鈴木ただし

< 2018年 / 日本 / 96分 >

コピーライト表記ナシ

< ワールド・プレミア >

もし未来の自分から手紙が届いたら？若手実力派俳優共演による青春映画。

◆『キュクロプス』 Cyclops

監督：大庭功睦

出演：池内万作、斉藤悠、佐藤真三、あこ、杉山ひこひこ

< 2018年 / 日本 / 108分 >

俺は必ずこの濡れ衣を晴らす！二重三重の罫。その先にある驚愕の真実。

SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2018

◆『情操家族』 High Sentiments Family

監督：竹林宏之

出演：山田キノヲ、韓英恵、遠藤史人、松田北斗、川瀬陽太、柳谷一成、諏訪敦彦
＜2017年/日本/83分＞

家庭も仕事も順風、のはずだった…。不測の事態に立ち向かう女性を描く異色ドラマ。

◆『岬の兄妹』 Siblings of the Cave

監督：片山慎三

出演：松浦祐也、和田光沙、北山雅康、岩谷健司、中村祐太郎、風祭ゆき
＜2018年/日本/89分＞

＜ワールド・プレミア＞

足に障害を持つ兄と、知的障害の妹。闇の中の二人に希望の光は射すのか？

■国内コンペティション短編部門

◆『Birth- おどるいのち -』

Birth-The Dance of Life-

監督：若見ありさ、池田爆発郎、大橋弘典

声の出演：浜辺夏帆、池田爆発郎、岸本鮎佳
＜2017年/日本/28分＞

みんなドキドキ。出産をテーマに3人の作家が描いたオムニバス作品。

◆『ヴィニルと鳥』 Dumping Ground

監督：横田光亮

出演：横田光亮、宮田佳典、井口理、守谷周人、野島健矢、八坂直也、梶山里緒
＜2018年/日本/31分＞

＜ワールド・プレミア＞

立ち上がりたい、立ち上がって欲しい。手に入れた力を使うべきか。

◆『予定は未定』

Who Knows about My Life

監督：磯部鉄平

出演：屋敷紘子、辰寿広美、南羽真里、時光陸、白井宏幸、土佐和成、山中アラタ
＜2018年/日本/27分＞

まだ見ぬ未来の夫に向かって走れ！独身アラフォー女性に贈る大人のコメディ。

◆『口と拳』 Lip and Fist

監督：溝口道勇

出演：高木千花、塩川フレディ、いいぐちみほ、深沢謙司、さとし、道廣オリヴィエ
＜2017年/日本/49分＞

愛する人の過去。あなたならどうしますか？愛にもがく女子の葛藤ドラマ。

◆『凧』 Lull

監督：川野邊修一

出演：日高七海、加藤園子、板倉奈津子、小田篤、森田ひかり、小倉詩歩
＜2017年/日本/27分＞

失踪した友人を探す手掛かりは、二人の間に交わされた秘密の約束。

◆『あいつは、いつも寝てる。』

He is Always Sleeping

監督：樽井隆広

出演：岡田菜見、魚住昇矢、小縄優羅、水俣俊博、田中和弘
＜2017年/日本/27分＞

＜ワールド・プレミア＞
クラスのアイツと、放課後のアイツにギャップ萌え！

◆『はりこみ』 Harikomi

監督：板垣雄亮

出演：池田香織、鳥谷宏之、板垣雄亮、鶴町憲
＜2017年/日本/28分＞

巧みな会話術で繰り広げる、上質な密室シチュエーション・コメディ。

◆『東京彗星』 TOKYO COMET

監督：洞内広樹

出演：大西利空、篠田諒、榎本“CHAMP”光永
＜2017年/日本/29分＞

兄と離れたくない弟と、弟を守りたい兄の切ない家族の物語。

◆『ふっかつのじゅもん』 Eternal Hoimi

監督：白井太郎

出演：佐伯亮、林田さくらこ、豊原功補（特別出演）、黒島結菜、大西利空
＜2017年/日本/30分＞

新人マネージャーと落ち目タレントのドタバタ・エンターテインメント。

■ 15周年特別企画 「飛翔する監督たち from SAITAMA」

◆『映画 夜空はいつでも最高密度の青色だ』 THE TOKYO NIGHT SKY IS ALWAYS THE DENSEST SHADE OF BLUE

監督：石井裕也

出演：石橋静河、池松壮亮、松田龍平
配給：東京テアトル、リトルモア
＜2017年/日本/108分＞

数々の映画賞を受賞した、優しくて、ぶっきりぼうな最高密度の恋愛映画。

◆『22年目の告白—私が殺人犯です—』

Memoirs of a Murderer

監督：入江悠

出演：藤原竜也、伊藤英明、仲村トオル
配給：ワーナー・ブラザーズ映画
＜2017年/日本/117分＞

その男は、突然現れた一。「はじめまして、私が殺人犯です」

◆『横道世之介』 A Story of Yonosuke

監督：沖田修一

出演：高良健吾、吉高由里子、池松壮亮、伊藤歩、綾野剛
配給：ショウゲート
＜2012年/日本/160分＞

懐かしの日々。彼はいつも笑ってる。温かな幸福感に包みこむ感動傑作。

◆『犬猿』 THICKER THAN WATER

監督：吉田恵輔

出演：窪田正孝、新井浩文、江上敬子、笈美和子
配給：東京テアトル
＜2017年/日本/103分＞

羨望、嫉妬、愛憎…。おかしくて、切ない、兄弟・姉妹の‘犬猿’バトル。

■ 15周年特別企画 「名匠たちの軌跡」

◆『A. K. ドキュメント黒澤明』 A. K.

監督：クリス・マルケル

ナレーション：蓮實重彦
提供：アスミック・エース
＜1985年/フランス、日本/74分＞
フランス人監督から見た、世界の巨匠アキラ・クロサワ。

◆『映画が時代を写す時 - 侯孝賢とエドワード・ヤン』

When Cinema Reflects the Times— Hou Hsiao-Hsien and Edward Yang

監督：是枝裕和

提供：テレビマンユニオン
＜1993年/日本/47分＞
「台湾ニューシネマ」を代表する二人の映画監督が描きたかったその時代。

◆『ドキュメンタリー—映画監督ミハエル・ハネケ』 Michael H. Profession: Director

SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2018

監督：イブ・モンマユール

提供：WILDart FILM

協力：オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム < 2013年 / オーストリア、フランス / 90分 >

先鋭かつ挑発的。今、世界で最も評価される鬼才の素顔に迫る 10年の記録。

■ 15周年特別企画「怪盗グルーシリーズ」拳上映

◆ 『怪盗グルーの月泥棒』 Despicable Me

監督：ピエール・コフィン、クリス・ルノー
声の出演：笑福亭鶴瓶、芦田愛菜、山寺宏一
配給：東宝東和

< 2010年 / アメリカ / 95分 >

ミニオン旋風はここから始まった！笑いと涙のハートフル・アドベンチャー！

世界一の悪党を目指す怪盗グルー。今回の獲物はなんと月。グルーはそれに必要な兵器を、養護施設で暮らす三姉妹を利用して入手する。しかし、その三姉妹に懐かれ、共同生活をするはめになり…。

◆ 『怪盗グルーのミニオン危機一発』

Despicable Me 2

監督：ピエール・コフィン、クリス・ルノー
声の出演：笑福亭鶴瓶、芦田愛菜、中島美嘉、山寺宏一、宮野真守、中井貴一

配給：東宝東和

< 2013年 / アメリカ / 98分 >

最強？の仲間、ミニオンたちに史上最大のピンチがやってきた！？

怪盗稼業から足を洗ったグルーは、ある日、悪と戦う「反悪党同盟」に引き抜かれ、相棒となった美人のルーシーと捜査にあたることに。そんな中、ミニオンたちが何者かに誘拐されてしまう。

◆ 『怪盗グルーのミニオン大脱走』

Despicable Me 3

監督：ピエール・コフィン、カイル・バルダ
声の出演：笑福亭鶴瓶、松山ケンイチ、中島美嘉、芦田愛菜

配給：東宝東和

< 2017年 / アメリカ / 90分 >

2017年 No. 1 ヒット洋画アニメ！グ

ルーとミニオンの新たな物語がここに！

最強の怪盗から、最高の父親になりルーシーとも結婚したグルー。悪党バルタザールを逃し、「反悪党同盟」をクビになったグルーは、生き別れた双子の兄・ドルーの存在を知り、意を決し会いに行く。

■ バリアフリー上映

(日本語字幕+音声ガイド/UDCast方式上映)

◆ 『8年越しの花嫁 奇跡の実話』

THE 8-YEAR ENGAGEMENT

監督：瀬々敬久

出演：佐藤健、土屋太鳳、北村一輝、浜野健太、中村ゆり、堀部圭亮、古舘寛治、杉本哲太、薬師丸ひろ子

配給：松竹 < 2017年 / 日本 / 119分 >

結婚式の直前、意識不明となった花嫁を、新郎は待ち続けた。

結婚を約束している尚志と麻衣。結婚式の3ヶ月前、突然の病魔が麻衣を襲い、昏睡状態に陥ってしまう。尚志の懸命な看病により、麻衣は一命を取り留めるが、記憶障害により尚志との記憶だけを失っていた…。

■ 関連企画 ママ・シアター

◆ 『人生フルーツ』 LIFE IS FRUTY

監督：伏原健之

ナレーション：樹木希林

配給：東海テレビ放送

< 2016年 / 日本 / 91分 >

高蔵寺ニュータウンの一隅で、雑木林に囲まれた平屋に住む建築家、津端修一さんと妻・英子さん。二人は、四季に合わせた、自給自足のよう暮らしぶり。本当の豊かさを思索させるドキュメンタリー。

■ 関連企画 VR 上映

◆ 『ブルーサーマル VR - はじまりの空 -』

Blue Thermal VR

大学の航空部を舞台に、少年少女の青春群像を描いた人気漫画「ブルーサーマル - 青凪大学体育会航空部 -」を話題の新鋭監督がVRで実写化！今年開催されたカンヌ映

画祭のマーケット内 VR シアターでも注目された作品です。

< 2018年 / 日本 / 12分 >

監督：上田慎一郎

出演：小野花梨、水石亜飛夢、田中偉登

製作：埼玉県 / SKIP シティ 彩の国ビジュアルプラザ

◆ 『ウルトラマンゼロ VR 大都会の戦慄 エレキング対ゼロ』 Ultraman Zero VR

東京都港区某所。オフィスビルでの会議中、突如、宇宙怪獣エレキングが出現する。命からがら非常口の扉を開けると、そこでは巨大怪獣とウルトラマンゼロのバトルが繰り広げられていた…！

< 2017年 / 日本 / 6分 >

監督：田口清隆

製作：円谷プロダクション、ポニーキャニオン、eje

■ 関連企画 メイド・イン SKIP シティ

◆ 『星に願いを〜じいじの夢はトラックドライバー〜』

Wish Upon A Star - Grandad Wants to be a Truck Driver

良次は60歳を迎え、娘婿に蕎麦屋を譲り隠居の生活。孫の菜々の保育園への送り迎えが毎日の楽しみ。昔はトラック運転手に憧れた良次。「おじいちゃんは夢見ちゃいけないの？」菜々の一言に良次は奮起する！

< 2018年 / 日本 / 23分 >

監督：福山功起

出演：原田大二郎、弘山真菜、森恵美・湯原昌幸

【問合せ先】

SKIP シティ国際 D シネマ映画祭事務局

広報・宣伝担当：堀切

〒333-0844 埼玉県川口市上青木3-12-63 5F

TEL：048-263-0818/FAX：048-262-5635

E-mail：horikiri@skipcity.com / press@skipcity-dcf.jp